

森町立森中学校

全校生徒数：234名 実施学年：全学年

学習習慣定着モデル

デバイス : iPad
OS : iPadOS
学習eポータル : L-Gate
アプリ : Microsoft 365

■ 取組の方法

○ 短期的なPDCAサイクルの確立及び本校作成アプリ「マイスタディ」を活用した望ましい学習習慣等の定着を図る取組

(1) P：計画

- ・生徒自身の学習状況を踏まえ、家庭における各教科の学習計画を立案

(2) D：実行

- ・学習計画に基づき、学習に取り組むとともに、記録表に各教科の学習時間及び振り返りを記入

(3) C：評価

- ・学習時間を可視化したグラフ等を用いて、自らの学習状況を評価

(4) A：改善

- ・明確にした成果と課題を踏まえ、翌月の学習計画を工夫改善

☆学習計画(P)

| 科目 | 学習のレベル(目標) | 学習の進捗状況(状況) |
|----|------------|--|
| 国語 | まあまあ | 授業で習った漢字をいつでも書けるように繰り返し練習する。新しい単元に入る前に教科書を読み、読の読れを確認。予習しておく。ワークを確実に、完璧に。 |
| 数学 | まあまあ | 授業で習った漢字をいつでも書けるように繰り返し練習する。新しい単元に入る前に教科書を読み、読の読れを確認。予習しておく。ワークを確実に、完璧に。 |
| 社会 | ニガテ | ワークの問題と教科書を見て少し自分の学習をする。わからないところは読み返して繰り返し聞く。得意科目の努力を積み重ねる。ワークを完璧に。 |

☆学習の振り返りと改善(A)

| 科目 | 振り返り(現状) | 振り返り(改善) |
|----|----------|----------|
| 国語 | できた | もっと |
| 数学 | まあまあだった | もっと |
| 社会 | できた | もっと |

次の学習のレベルは
まあまあ
ニガテ
ニガテ

今月の学習の成果や課題、次につなげたいことを書きましょう。

国・文法が得意で、いちはる手帳と、今年国・文法などを復習して理解が深くなってほしいです。
国・一次問題の得意な問題が得意なところが多いので、一次問題とみなす考え方を身に付けられるようにワークの問題を繰り返し使います。

【本校作成アプリ「マイスタディ」】

■ 生徒の変容

短期的なPDCAサイクルを確立することにより、ある学級では「1日あたりどれくらいの時間、家庭学習をしますか」の項目において、7月は平均42.0分だったが、11月には81.1分と約2倍の増加が見られた。

「マイスタディ」を活用し教師と生徒が取組状況を振り返るとともに、自発的な学習に取り組む生徒が多く見られるようになった。

「1日あたりどれくらいの時間、家庭学習をしますか」



石狩市立石狩中学校

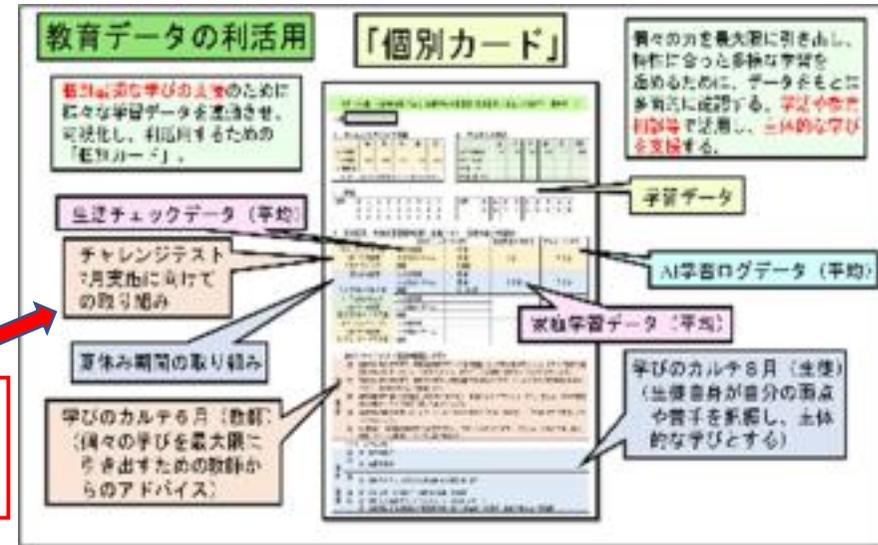
全校生徒数：55名 実施学年：全学年

学習習慣定着モデル

デバイス : WindowsPC
OS : WindowsOS
学習eポータル : まなびポケット
アプリ : すららドリル

■ 取組の方法

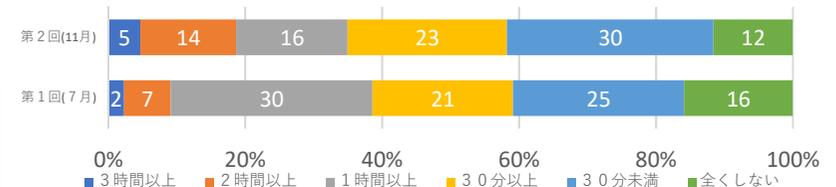
- ・「学びのカルテ」を活用し、これまでの学習の状況や弱点などを個別に把握した。
- ・「家庭学習計画表」をクラウド上に共有することにより、教員が個別に学習支援できるようにした。
- ・家庭学習においてAIドリルを活用し、生徒が自身の課題としている学習に取り組めるようにした。
- ・ほっかいどうチャレンジテストの結果など、客観的な指標に基づき、取組の成果を検証した。
- ・学習データの状況、生活チェックデータなどを記録した「個別カード」を生徒と共有し、個別に支援することにより、主体的な学びの実現を目指した。



■ 生徒の変容

- ・7月と11月に実施した生徒アンケートの比較では、平日の家庭学習時間が3時間以上の生徒が3%、2～3時間の生徒が7%増加するとともに、週末の家庭学習時間が2時間以上の生徒が7%増加するなど、家庭学習習慣の確立を図ることができた。
- ・7月と12月に実施した「ほっかいどうチャレンジテスト」の平均正答率の比較では、第1学年において8.8%、第2学年において7%増加するなど、本事業の取組が学習内容の定着につながった。

「平日の家庭学習時間」



「週末の家庭学習時間」

